

平成 24 年度 地域密着型金融の取組みについて

-中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組みの状況-

当金庫では、「地域住民の幸福・地域企業の繁栄・地域社会の発展に貢献する」という経営理念のもと、長年のお取引を通じて蓄積した稠密な地域情報や、地域のさまざまな皆さまとのネットワークを十分に活用して、地域の持続的成長に貢献すること、すなわち「地域密着型金融」の推進に全力で取り組んでおります。

このたび、平成 24 年度の取組状況を取りまとめましたので、ぜひご高覧賜りますようお願い申し上げます。

【CONTENTS】

1. 基本方針・取組態勢	・・・	1
2. 地域の事業先・個人の皆さまへのコンサルティング機能の発揮	・・・	2
3. 外部専門家・外部機関との連携	・・・	6
4. 地域の面的再生への積極的な参画	・・・	8



城北信用金庫

1. 基本方針・取組態勢

地域密着型金融の推進にあたり、当金庫では以下のような基本方針を定めております。

「地域密着型金融の推進に関する基本方針」

当金庫は、特に下記項目に留意し、地域密着型金融を推進する。

1. 地域にベストマッチした独自の地域密着型金融
2. 資金供給機能にとどまらない幅広い総合金融力の実現
3. 協同組織金融機関である信用金庫グループとしての特性発揮
4. 経営の健全性と透明性の確保

また、本部に以下の専担部署を設置して、営業店における地域密着型金融の取組みをサポートする態勢を整えております。

・営業推進部「地域支援グループ」

金融相談業務の専担部署として、相続・贈与・遺言・年金などのご相談や、事業承継・創業などのコンサルティング業務、経営に役立つセミナーの開催、お取引先企業間のビジネスマッチング、M&A案件の支援など、幅広く対応しております。

・審査部「企業支援グループ」

経営改善計画の策定支援や、お取引先・外部専門家・当金庫が三位一体となって進める事業再生活動、外部機関との連携による資金繰り改善支援など、お取引先企業の経営改善・早期事業再生を、営業店担当者と連携してサポートしております。

・審査部「営業店サポートグループ」

実践的な臨店指導や研修を重点的に実施し、目利き能力・コンサルティング能力の高い人材の育成に取り組んでおります。

2. 地域の事業先・個人の皆さまへのコンサルティング機能の発揮

◇創業・新事業開拓支援

自治体等と連携して、地元で創業したい方、創業されてまもない方への支援に取り組んでおります。

●創業・新事業開拓支援融資

平成 24 年度実績	
実行件数： 99件	実行金額： 507百万円

●「ネスト赤羽」における創業支援活動

地域の新しい産業作り、地域コミュニティの再生、人材の発掘と育成などを目的として、東京都北区の創業支援施設「ネスト赤羽」で月に一度開催される「制度融資&金融機関との取引開始の相談会」に職員を継続的に派遣し、ご相談をお受けしました。

◇成長・課題解決支援

事業や暮らしにまつわる課題解決のお役に立てますよう、様々な取組みを行っています。

●成長基盤強化融資

平成 24 年度実績	
実行件数： 76件	実行金額： 4,705百万円

●「無料FP相談会」の開催

本部専任スタッフによる「無料FP相談会」では、相続・遺言・年金・不動産活用など、暮らしとお金にまつわる様々なご相談をお受けしています。平成24年度は、97回の相談会で733件のご相談に対応いたしました。

●「城北未来塾」の主催

企業の次代を担う若手経営者を主な対象とする「城北未来塾」を定期的で開催しております。セミナーでは、経営現場で役立つ実践的な話題の提供に努めるとともに、交流会を通じ、企業間の円滑な情報交換をサポートしております。

セミナー内容	開催日	参加者数
城北未来塾 24 年度第 1 回セミナー&交流会 伊藤 麻美 氏 「乗り越えられない壁はない！」 ～倒産寸前の会社を救った跡取り娘の奮闘記～	6月11日	137名
城北未来塾 24 年度第 2 回セミナー&交流会 佐藤 泰博 氏 「人間魅あるリーダーを目指して」	11月6日	111名



▲「城北未来塾 24 年度第 1 回セミナー&交流会」

●「海外展開支援セミナー」の開催

海外展開へのご相談に対しては、JETRO（日本貿易振興機構）、中小企業基盤整備機構、信金中央金庫等と協力しながら対応しております。平成 24 年度には、海外展開を検討している経営者の皆さまを対象に「海外展開支援セミナー」を開催いたしました。

セミナー内容	開催日	会場	参加者数
海外展開支援セミナー ～世界へ売り込めジャパン製！今だ見せるぞ、その良さを！～ ・講演「アジア諸国のビジネス環境について」 講師：若松 勇 氏（日本貿易振興機構海外調査部 アジア大洋州課 課長） ・事例発表「わが社の海外展開について」 講師：一ノ瀬 広行 氏（株式会社 丸一 代表取締役） ・説明「支援機関の海外展開支援業務について」 講師：日本貿易振興機構関東貿易情報センター、信金中央金庫	1月17日	北とぴあ7階 第1研修室	27名

◇経営改善支援・早期事業再生支援

行政から提供される経営支援強化策を積極的に活用するとともに、外部機関とも連携しながら、お取引先の経営改善・早期事業再生支援に全力で取り組んでおります。

●セーフティネット関連保証制度融資

平成 24 年度実績	
実行件数： 1, 543件	実行金額： 17, 828百万円

●外部機関との連携

経営改善・早期事業再生支援にあたっては、中小企業再生支援協議会や民間コンサルタント等の外部機関との連携に努めています。平成 24 年度における主な連携の状況は下記の通りです。

	中小企業再生支援協議会			民間コンサルタント			
	持込	計画策定	取組中	紹介	契約	計画策定	取組中
平成 24 年度	14	4	1	11	9	4	5
累計	106	36	1	41	29	25	5

●「エコ経営改善プロジェクト」への推薦

経済産業省「エコ経営改善プロジェクト」のモデル企業にお取引先を推薦、うち1社において、関東経済産業局・自治体等と連携し、環境視点による新たな経営改善手法（省エネルギー、生産工程の改善、組織の活性化など）を用いた経営改善支援を行いました。

● 経営改善支援への取組実績（平成24年4月～平成25年3月）

（単位：先数）

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援 取組み先α	αのうち期末に債 務者区分がランク アップした先数β	αのうち期末に債 務者区分が変化し なかった先数γ	αのうち再生計画 を策定した先数δ	経営改善支援 取組み率 =α / A	ランクアップ率 =β / α	再生計画策定率 =δ / α
正常先 ①	16,984	2		2	1	0.01%		50.00%
要注意先	うちその他要注意先②	6,059	157	7	135	2.59%	4.45%	64.33%
	うち要管理先 ③	143	4	1	3	2.79%	25.00%	100.00%
破綻懸念先 ④	358	9	1	7	8	2.51%	11.11%	88.88%
実質破綻先 ⑤	589	0	0	0	0	0.00%	-	-
破綻先 ⑥	207	0	0	0	0	0.00%	-	-
小計(②～⑥の計)	7,356	170	9	145	113	2.31%	5.29%	66.47%
合計	24,340	172	9	147	114	0.70%	5.23%	66.27%

- 注) ・ 期初債務者数及び債務者区分は平成24年4月当初時点で整理しております。
 ・ 期初債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
 ・ βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しております。
 なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めておりません。
 ・ 期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含めております。
 ・ 期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理しております。
 ・ 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めておりません。
 ・ γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しております。
 ・ みなし正常先については正常先の債務者数に計上しております。
 ・ 「再生計画を策定した先数」＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCCの支援決定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」

3. 外部専門家・外部機関との連携

企業支援・地域活性化支援の取組みを、より効果的に進められますよう、地元自治体や外部専門機関などとのネットワークの強化に努めております。

- 「ネットワークアドバイザー」への登録

経済産業省関東経済産業局「中小企業支援ネットワーク強化事業」の登録金融機関として引き続き活動するとともに、平成24年度には当金庫職員2名が「中小企業支援ネットワークアドバイザー」に採択されました。職員がネットワークアドバイザーとして同事業に直接参加することにより、お取引先企業が抱える経営課題の解決に、より適切な支援が行える体制が整備されました。

- 「経営革新等支援機関」への認定

平成24年11月5日、中小企業庁から「中小企業経営力強化支援法」に基づいた「経営革新等支援機関」に認定されました。中小企業に対して専門性の高い支援事業を行う経営革新等支援機関として、地域中小企業の経営支援に取り組んでおります。

- 「地域経済活性化機構」への職員出向

平成25年3月18日に誕生した「地域経済活性化機構」に当金庫職員1名を出向させております。機構が掲げる「地域の再生現場の強化」、「地域活性化に資する支援」という目的は、当金庫の使命とも共通するものであり、今後とも連携強化に努めてまいります。

- 「中小企業のための工場見学会」の共催

ものづくりにおける先進的な取組みに直接触れていただくことを目的に、荒川区および中小企業基盤整備機構関東本部と「中小企業のための工場見学会」を共催しました。

内容	実施日	参加企業数
中小企業のための工場見学会 (株)日新化成 様（埼玉県さいたま市。熱硬化性樹脂及び熱可塑性樹脂の成形加工） ～一貫生産体制の導入によりフレキシブルな顧客対応を実現	10月19日	9社

●ものづくり企業に対する各種顕彰への後援

地元自治体が設ける各種顕彰を後援し、ものづくり企業の新製品・新技術開発支援やパブリシティ効果による販路拡大支援に取り組んでおります。

顕彰名	顕彰の目的	実施日
荒川区新製品・新技術大賞	荒川区内中小企業が開発した優秀な新製品・新技術の表彰により、「モノづくりの街あらかわ」の振興へつなげることを目的としています。	3月9日
北区きらりと光るものづくり顕彰	製造業を中心に北区内の優れた「ものづくり」に携わる企業や人を表彰することで、区内産業の発展と活性化を図ることを目的としています。	2月4日
板橋製品技術大賞	板橋区内企業の開発力、技術力を広く内外にアピールし、板橋区の工業振興を図ることを目的としています。	11月15日

●人材の育成

各種の研修、自己啓発プログラムによる能力開発はもとより、本部専門スタッフや外部機関との連携を通じて実践的なノウハウを習得することにより、職員の目利き能力・コンサルティング能力の向上に努めております。

また、お客さまのご要望や課題に対するきめ細やかな対応を実現するため、職員のコミュニケーション能力の向上にも力を入れております。

4. 地域の面的再生への積極的な参画

地域の皆さまとの接点を強化し、より一層コミュニケーションを深めることにより、地域全体の活性化に貢献してまいります。

- 個別相談会「第1回 城北 夢をかなえる商談会」の開催
 地元中小企業者の販路拡大支援のため「食」をテーマとした個別相談会「第1回 城北 夢をかなえる商談会」を8月2日に開催しました。
 当日は、大手バイヤー企業11社を招聘、地元企業20社が55件の商談に臨み、その場でバイヤー企業から取引希望がでるなど実り多い商談会となりました。



▲個別相談会「第1回 城北 夢をかなえる商談会」の開催

- 地域活性化プロジェクト等への参画・支援
 地元自治体等と連携し、地域活性化を目指すプロジェクト等を進めています。

主な参画プロジェクト	内容
フロンティアネットワークすみだ (墨田区)	墨田区での次世代経営者育成組織「フロンティアネットワークすみだ」の活動を支援し、中小企業の事業継承や次代を担う人材の育成に取り組んでいます。
KICCプロジェクト(北区・板橋区)	北区・板橋区において、産業・技術・人材・文化などの多様な地域資源の活用を進める「KICCプロジェクト」に参加し、地域産業の活性化に協力しています。
MACCプロジェクト(荒川区)	荒川区のモノづくりに関わる事業者を支援する「MACCプロジェクト」に参加し、区内の関係企業の活性化や、「まちの元気化」へ協力しています。
商工会議所北支部地域事業研究部会 (北区)	商工会議所による北区の地域ブランドづくりの取組み「北区おでん事業」に参加し、地域の商業活性化に協力しています。

● 地域活動への協力

地域に人を呼びこむイベントなどに積極的に参加しています。

活 動 内 容		実施日
「赤羽馬鹿祭り」(北区)への後援・参加	「第57回赤羽馬鹿祭り」を後援するとともに、地元の赤羽支店職員のほか、多数の若手職員がパレード(馬鹿ロック踊り)などへ参加しました。	4月29日
「素盞雄神社天王祭本祭り」(荒川区)への参加	「素盞雄神社天王祭本祭り」の神輿渡行に、地元の南千住支店職員のほか、多数の若手職員が参加しました。	6月2日
「都電荒川線沿線 絵画コンテスト」への協賛	都電荒川線とその沿線風景の手書き絵画を募集し、小学生から一般まで4部門で審査するコンテスト。沿線をめぐるツアーも行われました。	6月~10月
「2012 夏休み子ども起業塾」(板橋区)への職員派遣	財団法人板橋区立企業活性化センター主催のイベントに職員を派遣し、小学生の起業・経済体験講座をお手伝いしました。	7月28日
「北区花火会」(北区)への特別協賛	荒川河川敷で行われる“秋の花火協働事業”です。区民手作りの新しい観光事業として、地域の振興とイメージアップを目指しています。	10月20日
「第4回東京・赤羽ハーフマラソン大会」(北区)への特別協賛	毎年1万人を越えるランナーが荒川河川敷を駆け抜ける人気の大会に特別協賛し、参加賞・入賞の賞品提供などを行いました。	2月10日